

2019年3月期 第2四半期

決算説明会

2018年 11月 9日(金)



電子デバイス&コンポーネント総合商社

株式会社 **エクセル**

(証券コード：7591 東証一部)

1 2019年3月期 第2四半期 決算概要

2 2019年3月期 業績予想

3 第7次中期経営計画の進捗と今後の戦略

APPENDIX

- 第7次中期経営計画 [2017-2019年度]
 - DATA SHEET
-

2019年3月期 第2四半期 決算概要

1

2019年3月期 業績予想・配当予想の修正（2018.7.31公表）

- ▼ 当初見込んでいた売上、利益を達成できない懸念が高まったことから、第2四半期の業績予想を大幅に下方修正。通期業績予想も併せて大幅に下方修正
- ▼ 配当政策（配当性向30～40%を目安に決定）に沿って、配当予想金額を見直し。業績予想修正後配当性向は38.5%

連 結 (百万円)	2019年3月期予想の修正						2018年3月期実績			
	期初予想 (2018.5.14公表)			→	修正予想 (2018.7.31公表)			上期	下期	通期
	上期	下期	通期		上期	下期	通期			
売上高	35,000	75,000	110,000		29,000	44,000	73,000	49,530	50,895	100,425
営業利益	390	1,110	1,500		50	400	450	818	615	1,433
経常利益	310	940	1,250		50	250	300	827	456	1,283
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	250	770	1,020		65	385	450	2,537	337	2,874
E P S (円)	28. ⁸⁵	88. ⁸⁵	117. ⁷⁰		7. ⁵⁰	44. ⁴³	51. ⁹³	292. ⁸⁵	38. ⁸²	331. ⁶⁷
配当 (円)	18. ⁰⁰	18. ⁰⁰	36. ⁰⁰		10. ⁰⁰	10. ⁰⁰	20. ⁰⁰	20. ⁰⁰	55. ⁰⁰ 内、特別配当30	75. ⁰⁰

- 半導体・電子部品業界は、IoT、AI、自動運転、ロボット等の新規分野の拡大により、半導体をはじめとする主要部材に対する需要が急拡大する中、各部材メーカーは、重要顧客向けや利益の出る製品のラインを優先的に稼働しているため、当社顧客が生産するスマートフォンやTV、PC等の競争の激しい分野への部材供給が不足し、想定以上に影響を大きく受け、液晶デバイスをはじめとする取扱製品の販売が減少
- 当社取扱製品の品質問題等の発生の影響により、ほぼ纏まっていた海外大口液晶ビジネス案件が大幅受注減
- 主要仕入先の事業方針の変更に伴う取扱製品の販売減少

2019年3月期 第2四半期 総括

事業環境

- 半導体をはじめとする主要部材の需給バランスが崩れ、スマートフォンやPC生産に多大な影響
- 同様の理由により液晶デバイス生産にもマイナスの影響
- 当社主要仕入先の事業方針変更の影響がさらに拡大

業績

- 売上高は前年同期比大幅減収
- 営業利益は売上総利益の大幅減を主因として、前年同期比大幅減益
- 営業外収損は前年同期比ほぼ同額ながら、経常利益は前年同期比大幅減益
- 特別損益は発生せず

トピックス

- 品質管理本部新設（4月）
- メキシコ現地法人閉鎖決定（6月）
- 構造改革への取組み開始（7月）
- 事業ポートフォリオ入替えをさらに強化、加速

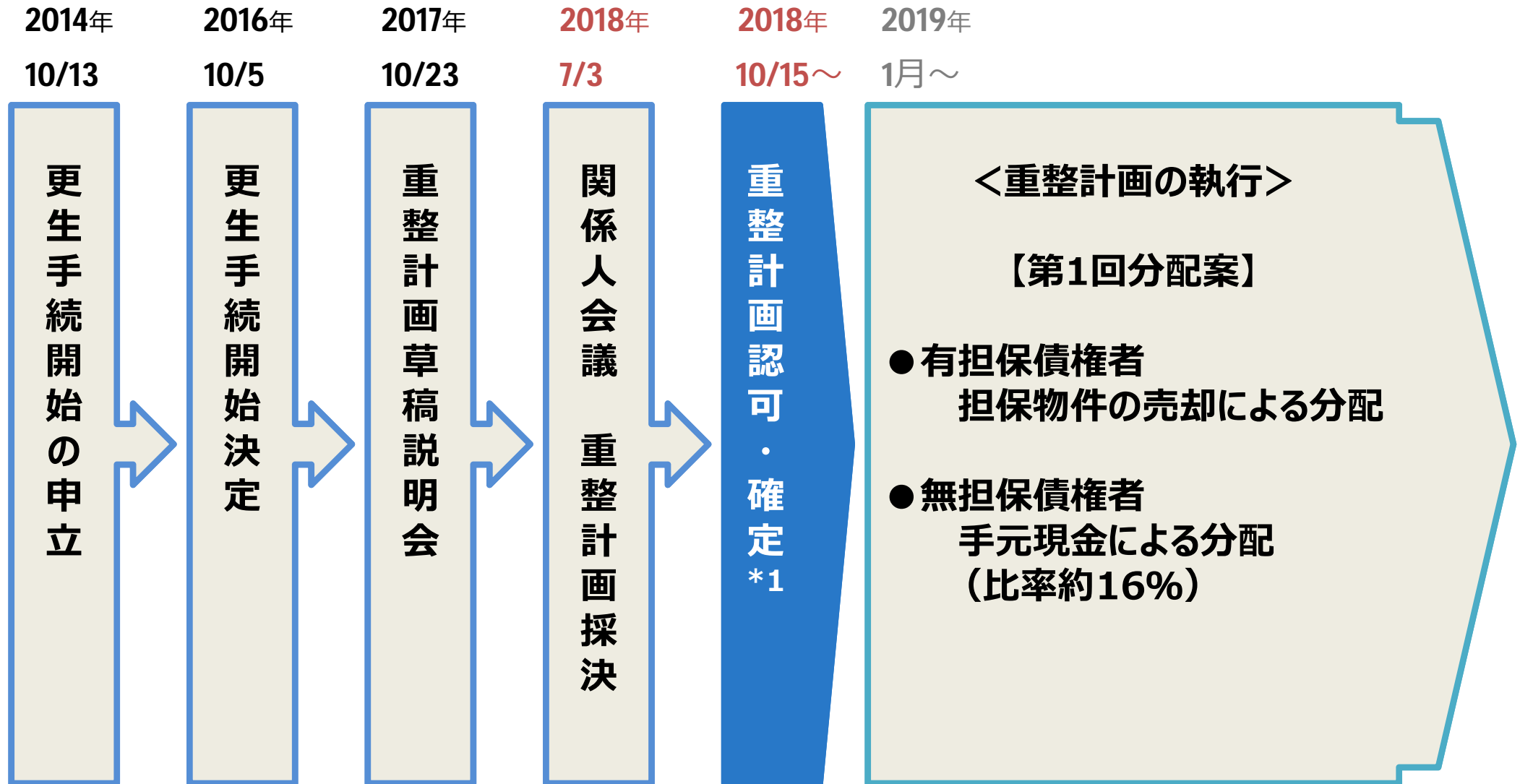
2019年3月期 第2四半期 ハイライト

連 結	2018年3月期 第2四半期 実績	2019年3月期 第2四半期 予想 (2018.7.31公表)	2019年3月期 第2四半期 実績 金額(百万円)	2019年3月期 第2四半期 実績	
	金 額(百万円)	金 額(百万円)		対前年同期	対予想
				<上段> 増減額(百万円)	<下段> 増減率
売上高	49,530	29,000	28,722	△20,808 △42.0%	△278 △1.0%
営業利益 【営業利益率】	818 【1.7%】	50 【0.2%】	51 【0.2%】	△767 △93.7%	+1 +2.0%
経常利益 【経常利益率】	827 【1.7%】	50 【0.2%】	56 【0.2%】	△771 △93.2%	+6 +12.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 【純利益率】	2,537 【5.1%】	65 【0.2%】	56 【0.2%】	△2,481 △97.8%	△9 △13.8%
E P S (円)	292. ⁸⁵	7. ⁵⁰	6. ⁵³	△286. ³²	△0. ⁹⁷
配当(円)	20. ⁰⁰	10. ⁰⁰	10. ⁰⁰	△10. ⁰⁰	予想通り

2019年3月期 第2四半期 損益状況

連 結	2018年3月期 第2四半期 実績		2019年3月期 第2四半期 実績				主な増減要因 (金額は百万円)
	金 額 (百万円)	売上高比 (%)	金 額 (百万円)	売上高比 (%)	対前年同期		
					増減額(百万円)	増減率	
売上高	49,530	100.0	28,722	100.0	△20,808	△42.0%	日本：△1,899 アジア：△18,752 その他（メキシコ）：△157
売上原価	46,747	94.4	26,697	93.0	△20,050	△42.9%	
売上総利益	2,782	5.6	2,024	7.0	△758	△27.2%	低粗利率のビジネスの減少が相対的に高かったため、売上総利益率は上昇
販管費	1,964	4.0	1,973	6.9	+9	+0.5%	将来の事業拡大に向けた先行投資による経費増
営業利益	818	1.7	51	0.2	△767	△93.7%	売上総利益の大幅減
営業外収益	132	0.3	131	0.5	△1	△0.8%	為替差益：+27(△5→22) 債務勘定整理益：△45(今期は発生せず)
営業外費用	122	0.2	127	0.4	+5	+4.1%	支払利息：+54(米ドル金利上昇による) 投資損失：△28(今期は発生せず)
経常利益	827	1.7	56	0.2	△771	△93.2%	
特別利益	2,228	4.5	—	—	△2,228	△100.0%	貸倒引当金戻入額：△2,228(今期は発生せず)
特別損失	—	—	—	—	—	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,537	5.1	56	0.2	△2,481	△97.8%	

(参考) WINTEK 会社更生手続きの現状と今後の予定 (見込み)



*1 重整計画の認可について、一部の債権者から異議があった場合、確定までに最大で約1年要する

(注) 上記は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって変更となる可能性があります。

2019年3月期 第2四半期 品目別売上高：対前年同期

(単位：百万円)【売上高構成比】

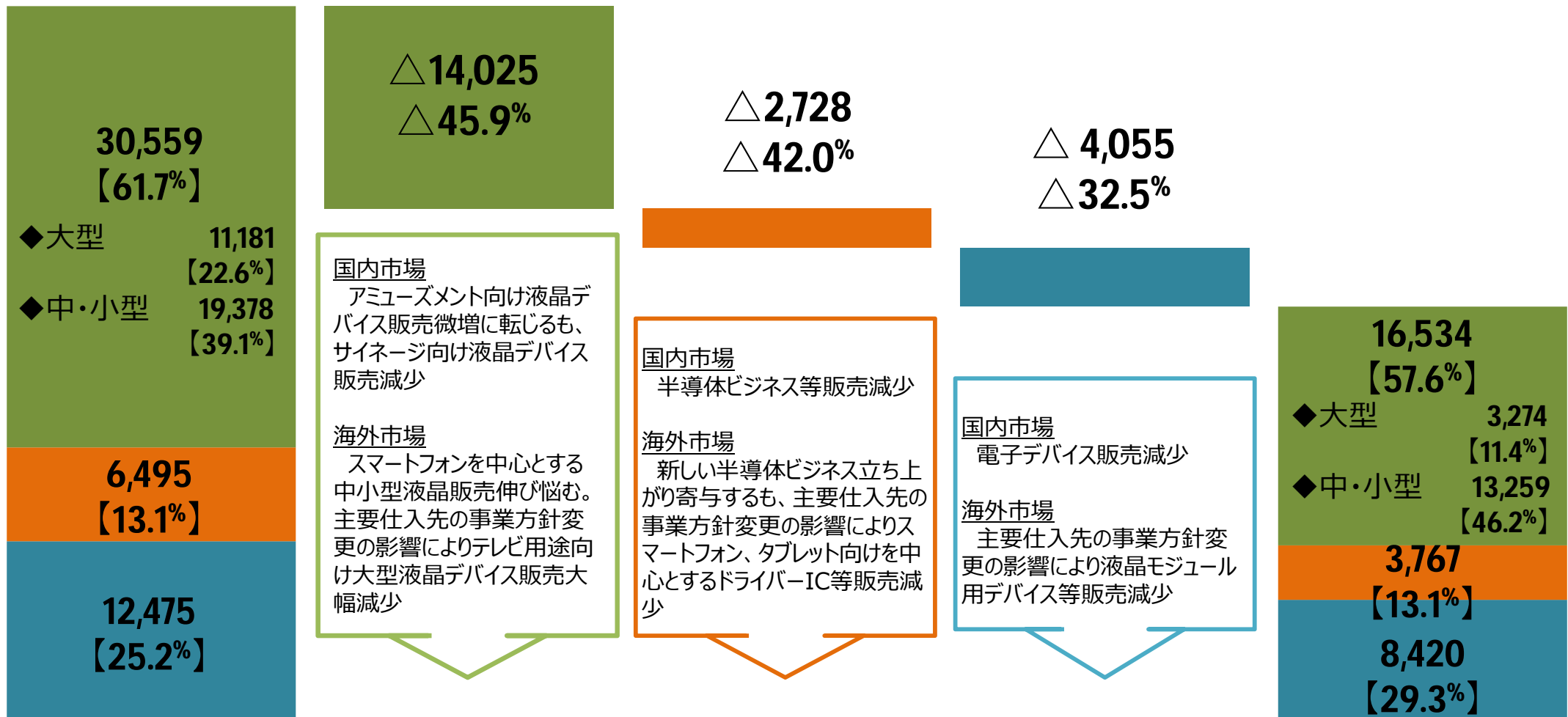
2018年3月期
第2四半期
49,530

液晶デバイス

半導体・集積回路

電子部品・その他

2019年3月期
第2四半期
28,722



2019年3月期 第2四半期 財務状況/キャッシュ・フロー状況

連結	2018年3月期末		2019年3月期第2四半期末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
流動資産	44,213	81.2	36,956	77.6	△7,257	受手・売掛金・電子記録債権△9,648 在庫+1,318
固定資産	10,265	18.8	10,651	22.4	+386	貸倒引当金+257 (▲11,842→▲11,585) 破産更生債権等△305 投資有価証券+431
資産合計	54,479	100.0	47,608	100.0	△6,870	
流動負債	25,909	47.6	19,212	40.4	△6,697	支手・買掛金△3,082 短期借入金△3,267
固定負債	1,320	2.4	1,306	2.7	△14	
負債合計	27,230	50.0	20,518	43.1	△6,712	
純資産合計	27,249	50.0	27,090	56.9	△159	利益剰余金△420 為替換算調整勘定+370
負債・純資産合計	54,479	100.0	47,608	100.0	△6,870	※自己資本比率：47.2%→53.8%

	2018年3月期 第2四半期 (百万円)	2019年3月期 第2四半期 (百万円)	(参考) 在庫と借入金の推移	
			2018年3月期末 (百万円)	2019年3月期 第2四半期末 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,676	+4,481	在庫	9,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267	△154	※リアルタイム在庫	7,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	350	△3,408	借入金	13,821
現金及び現金同等物 増減額	△1,460	+1,227	ネットDebt	7,142
現金及び現金同等物 期末残高	7,259	6,913	※リアルネットDebt	5,001

2

2019年3月期 業績予想

2019年3月期 業績見通し

連結	2018年3月期			2019年3月期予想 (2018.7.31公表)					
	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期	上期	下期	通期
	金額(百万円)			金額(百万円)			対前年同期		
							<上段>増減額(百万円) <下段>増減率		
売上高	49,530	50,895	100,425	28,722	44,278	73,000	△20,808 △42.0%	△6,617 △13.0%	△27,425 △27.3%
営業利益 【営業利益率】	818 【1.7%】	615 【1.2%】	1,433 【1.4%】	51 【0.2%】	399 【0.9%】	450 【0.6%】	△767 △93.7%	△216 △35.1%	△983 △68.6%
経常利益 【経常利益率】	827 【1.7%】	456 【0.9%】	1,283 【1.3%】	56 【0.2%】	244 【0.6%】	300 【0.4%】	△771 △93.2%	△212 △46.5%	△983 △76.6%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 【当期(四半期) 純利益率】	2,537 【5.1%】	337 【0.7%】	2,874 【2.9%】	56 【0.2%】	394 【0.9%】	450 【0.6%】	△2,481 △97.8%	+57 +16.9%	△2,424 △84.3%
EPS (円)	292. ⁸⁵	38. ⁸²	331. ⁶⁷	6. ⁵³	45. ⁴⁰	51. ⁹³	△286. ³²	+6. ⁵⁸	△279. ⁷⁴
配当 (円)	20. ⁰⁰	55. ⁰⁰ 内、特別配当30	75. ⁰⁰	10. ⁰⁰	10. ⁰⁰	20. ⁰⁰	△10. ⁰⁰	△15. ⁰⁰ *普通配当比較	△25. ⁰⁰ *普通配当比較

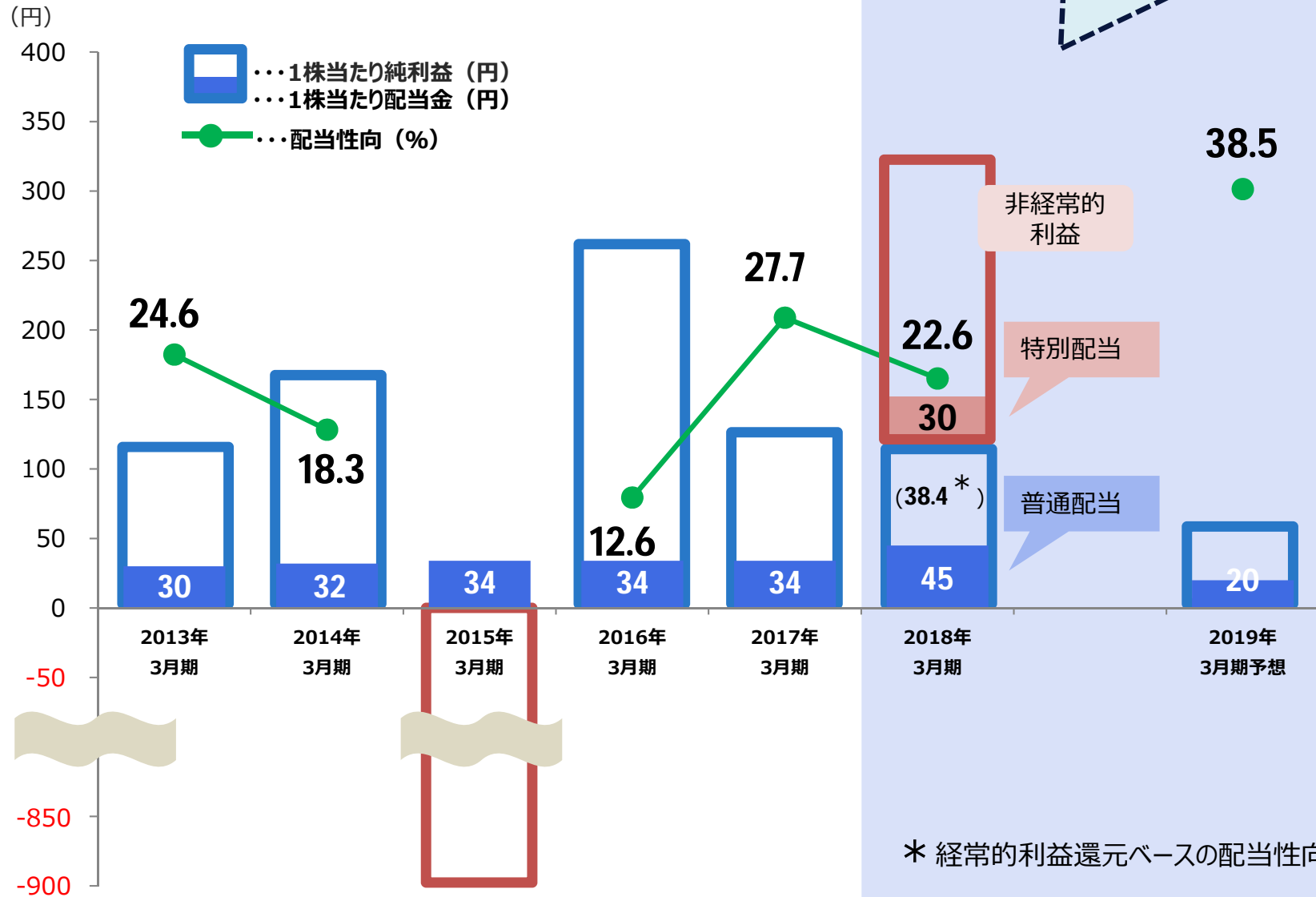
株主還元の推移

安定配当

配当方針変更

配当性向30%~40%
目安として決定

なお、非経常的な特殊要因により当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがある



2019年3月期 品目別売上高：対前期

(単位：百万円)【売上高構成比】

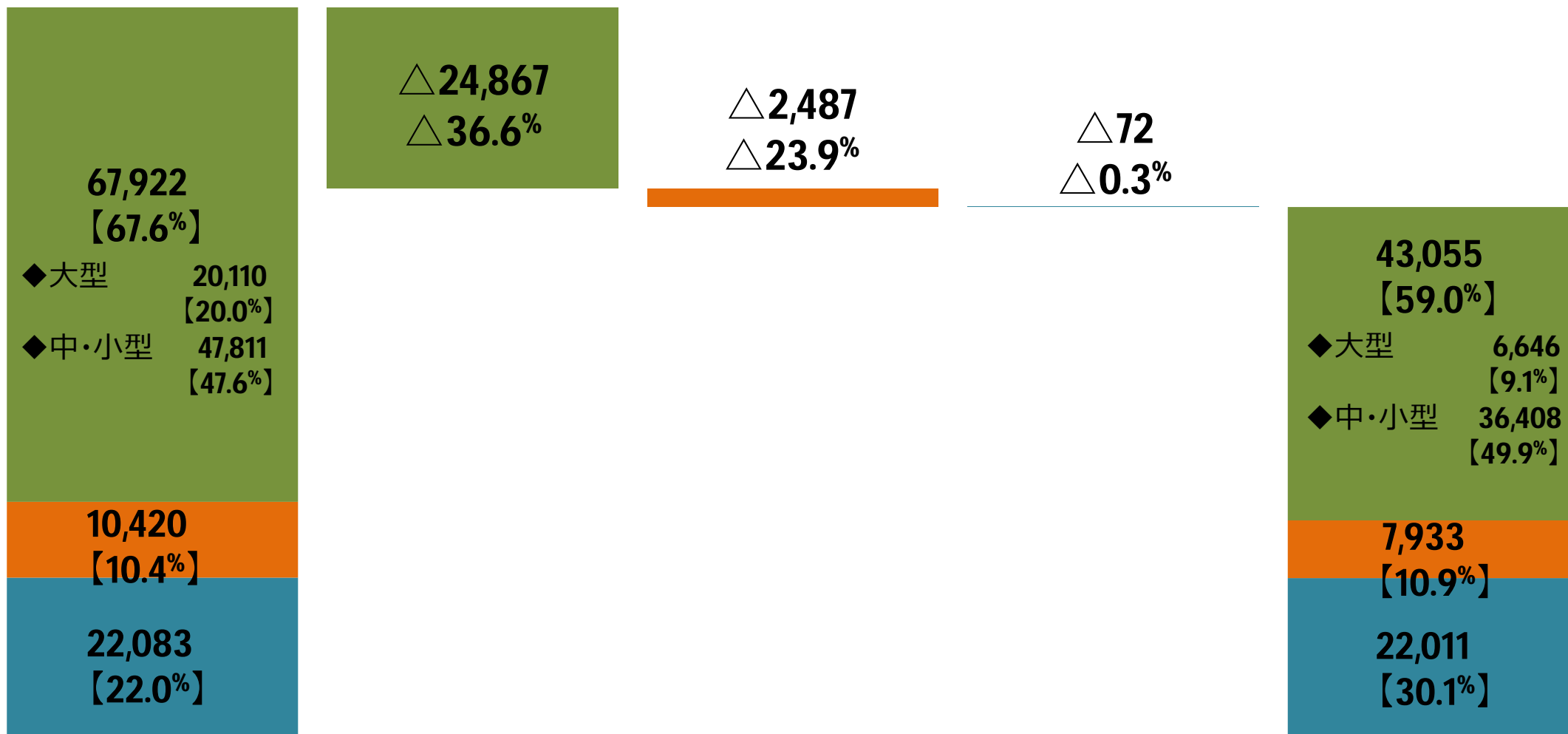
2018年3月期
100,425

■ 液晶デバイス

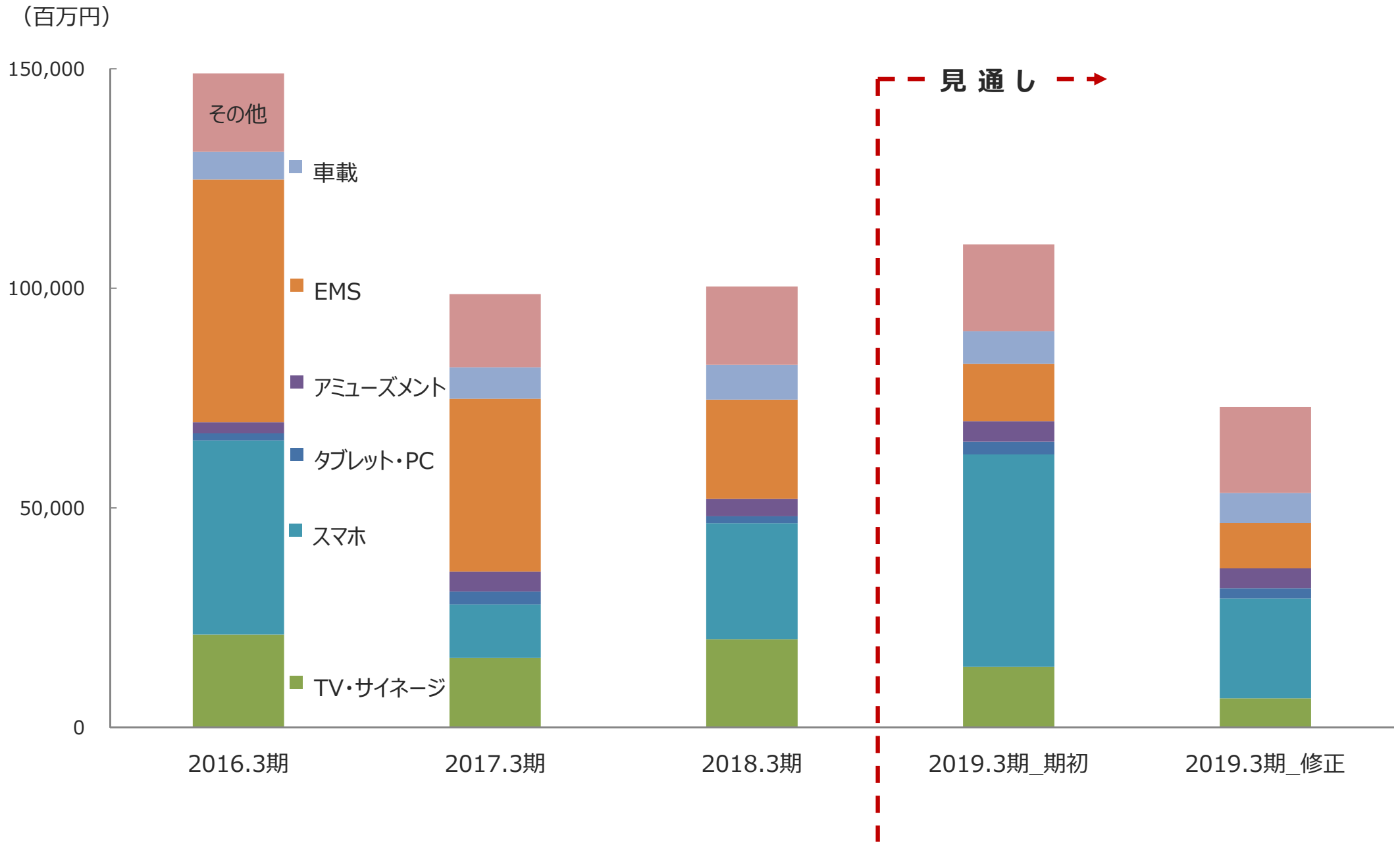
■ 半導体・集積回路

■ 電子部品・その他

2019年3月期
予想
73,000



(参考) 用途別売上高の推移



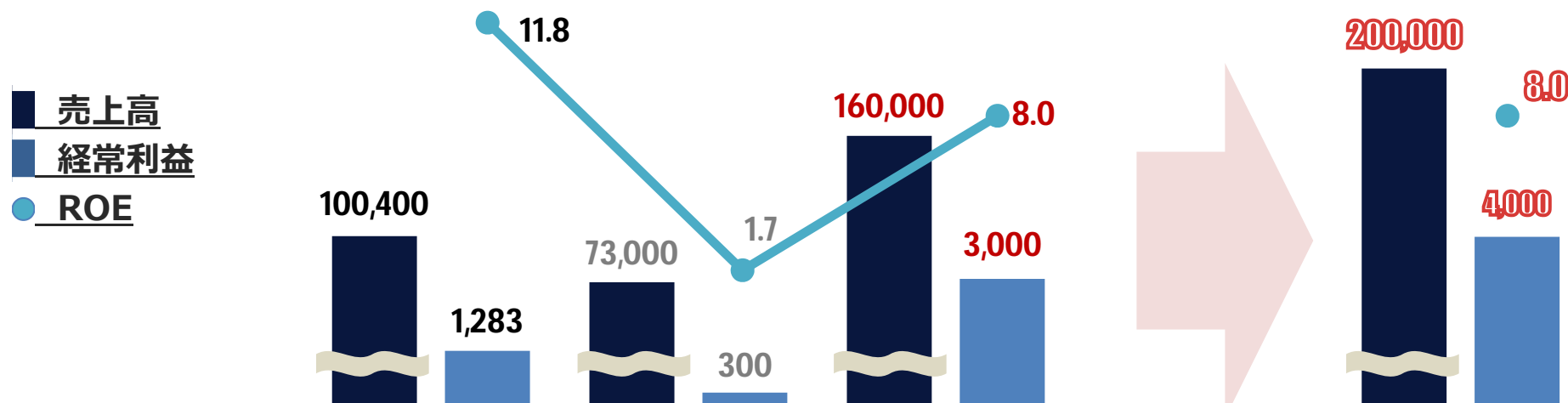
3

第7次中期経営計画の進捗と今後の戦略

第7次中期経営計画（18.3－20.3）

▼大変厳しい経営環境の下、第7次中期経営計画の達成に向け、改めて事業ポートフォリオの見直しと構造改革を強力に推し進め、更なる成長に向け全力を尽くす

		2018年 3月期 実績	2019年 3月期 業績予想	2020年 3月期 目標	2021年 3月期 目標
収益力	売上高	1,004億円	730億円	1,600億円	2,000億円
	経常利益	12. ⁸ 億円	3. ⁰ 億円	30億円	40億円
資本効率	ROE	11. ⁸ %	1. ⁷ %	8%以上	8%以上



成長戦略の進捗サマリー

1

液晶総合力でNo.1となる

- 既存：事業環境激変
産業用PCを絡めたソリューション展開推進中
- ADS：新興勢力との競争環境の下、苦戦
- 新規：海外リソースビジネスの立上げ推進中

2

電源とパワーデバイスの両輪を極める

- 日系パワーデバイス素材を海外を中心にソリューション展開
⇒立上げに苦戦。目標値を下方修正し戦略再検討中
- スマホ向けACアダプターに加え、組込電源の拡販推進

3

‘IoT’のビジネスモデルを確立する

- IoT向けネットワークカメラ、リカーリングビジネス開始
⇒予定通り開始するも伸び悩み
- ビジネス拡大に向け、協業先と協議中

4

取扱製品を拡充・拡販する

- 日本および海外の商材拡充を推進中
- 新規仕入先と車載、コンシューマ、オーディオ分野等への取り組みに加え、カメラ機能強化ビジネス推進中

5

新規市場を開拓する（中長期）

- 新規取引先への出資
⇒前期実績2件。取り組み継続中
- EV市場の開拓に加え、セキュリティ市場の開拓に着手

APPENDIX 1

- 第7次中期経営計画 策定 [2017-2019年度]
 - 2018年11月再修正

当社を取り巻く事業環境

《 マクロ環境 》

世界

- ◆ 保護貿易、ポピュリズム、民族主義
- ◆ 地政学的リスク

不透明感の高まり

日本

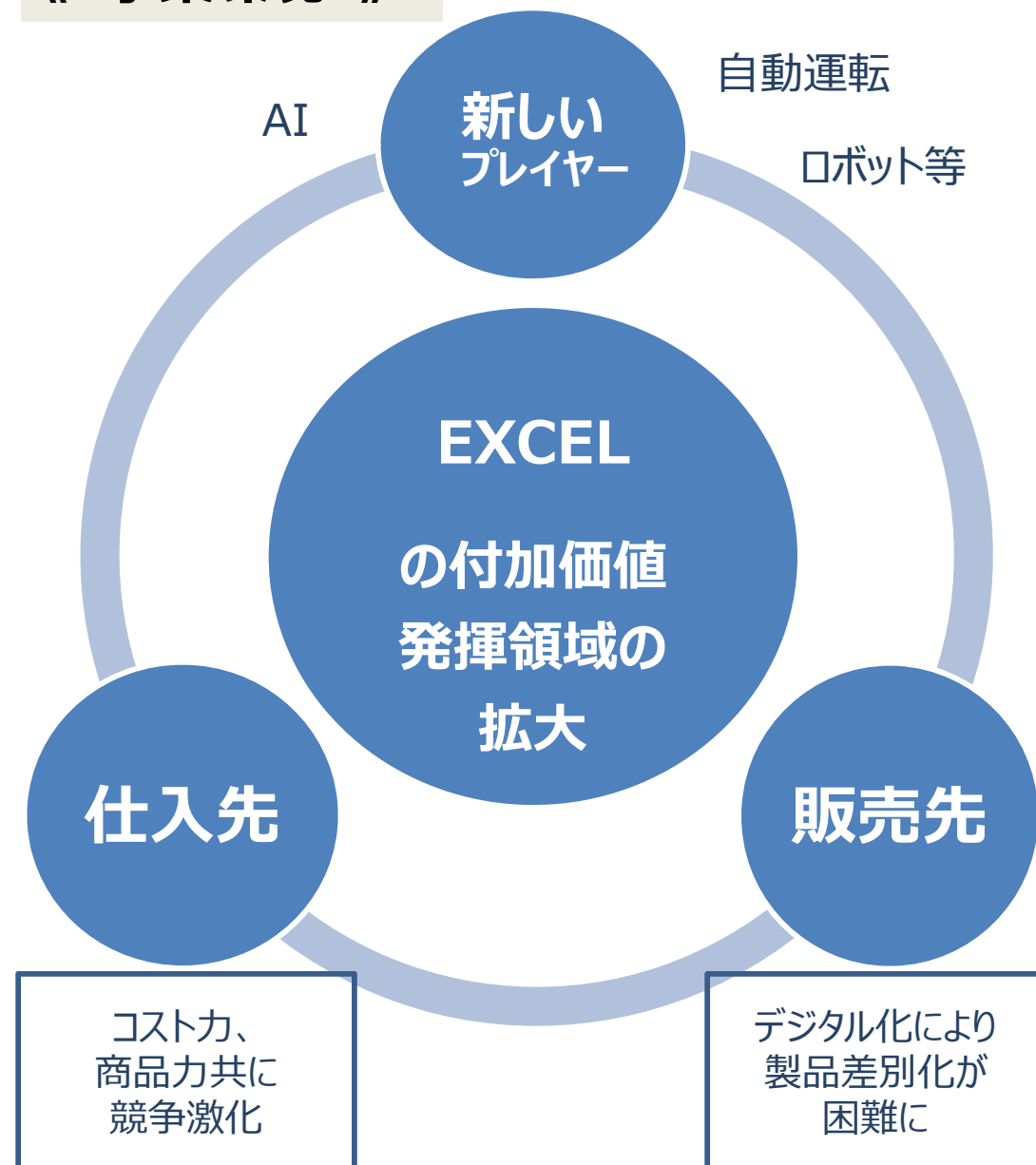
- ◆ 東京オリンピック開催に向けたインフラ投資需要
- ◆ 先行き読み難い景気・為替動向
緩やかな回復も力強さを欠く

エレクトロニクス業界

- ◆ ハード機器販売からソフトウェアを絡めたソリューション販売へのシフト加速
- ◆ 部品購買・自社組み立てから、ユニット購入等により付加価値を付けて差別化を図る流れ

ソリューション力が不可欠

《 事業環境 》



基本方針

企業理念「EX21」

私たちは、企業は公器であることを認識し、
すべての顧客・仕入先・社員・社会・株主に会社の継続的な成長によって満足を提供します。



【基本方針】 エクセルが目指す会社

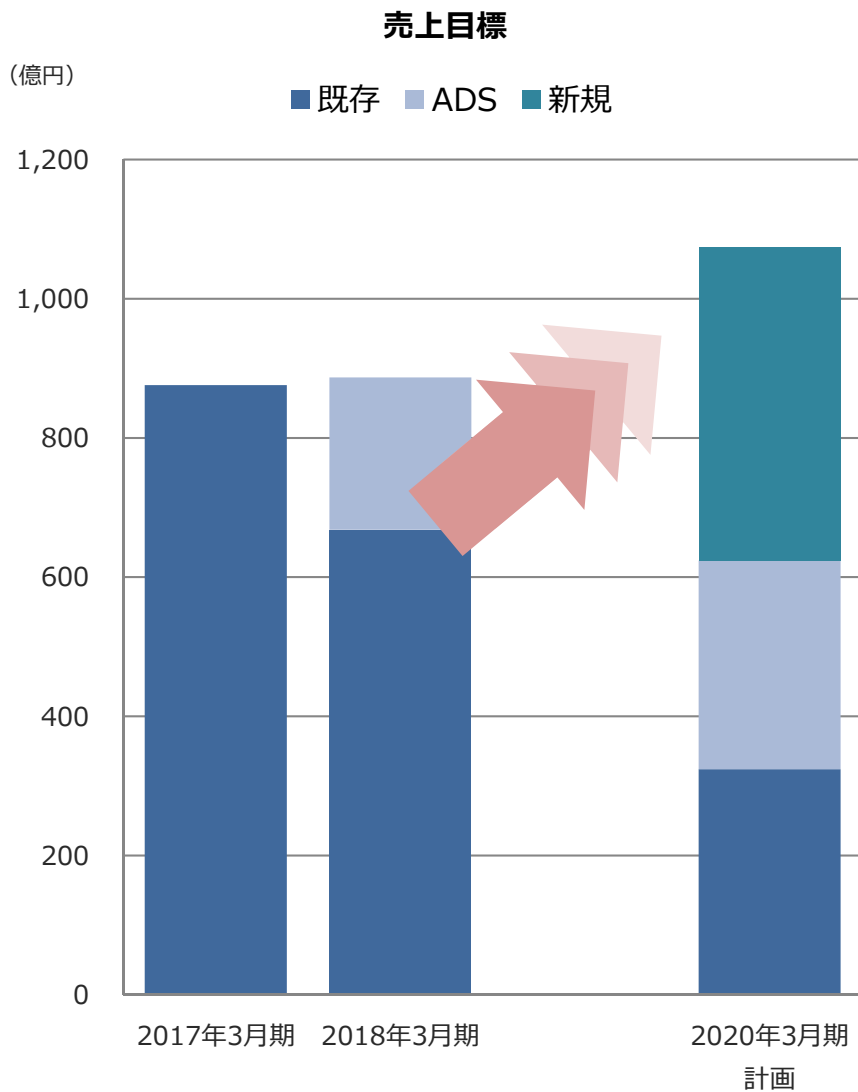
人とテクノロジーを結び付けること
Connecting people with technologies

『行動指針』

3C (Change・Challenge・Create) の実践

1

液晶総合力でNo.1となる



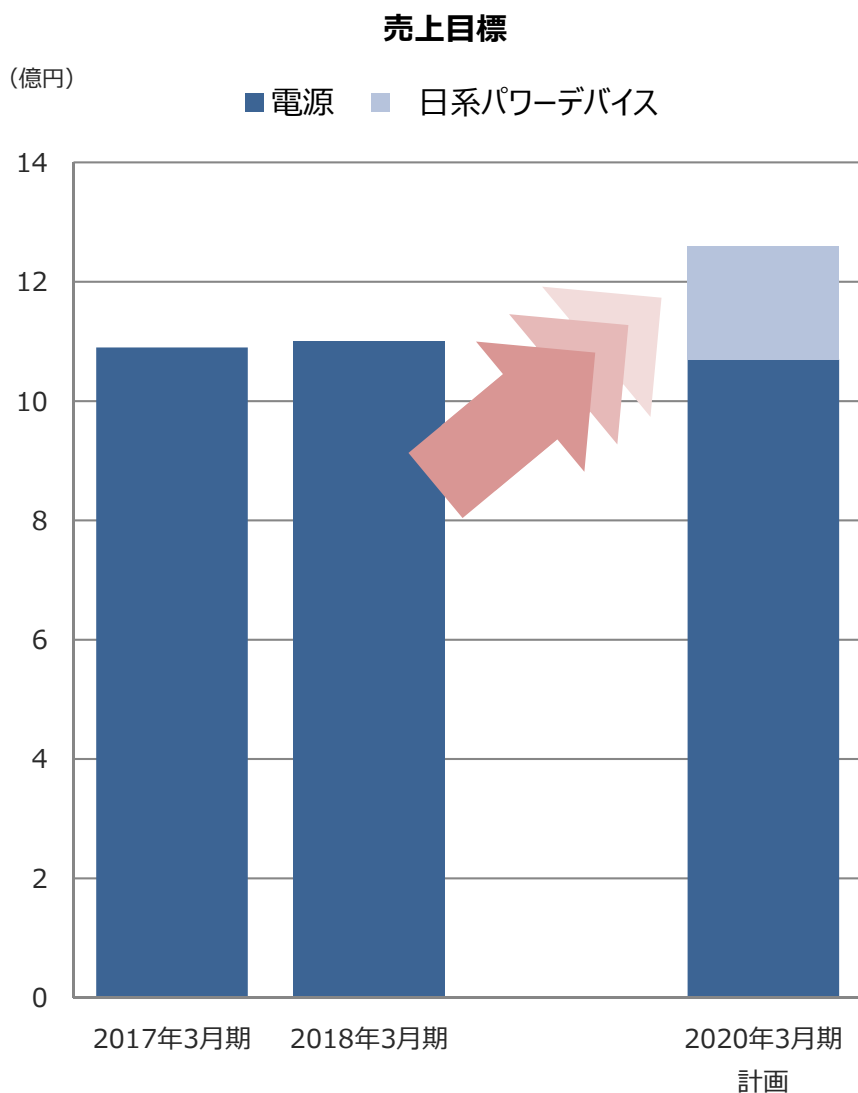
◆ 液晶をコアビジネスと位置付ける

新しい表示デバイスの市場を先取りし、
サプライヤーとユーザーを結び付けることで
ビジネスチャンスを実際に捉える



2

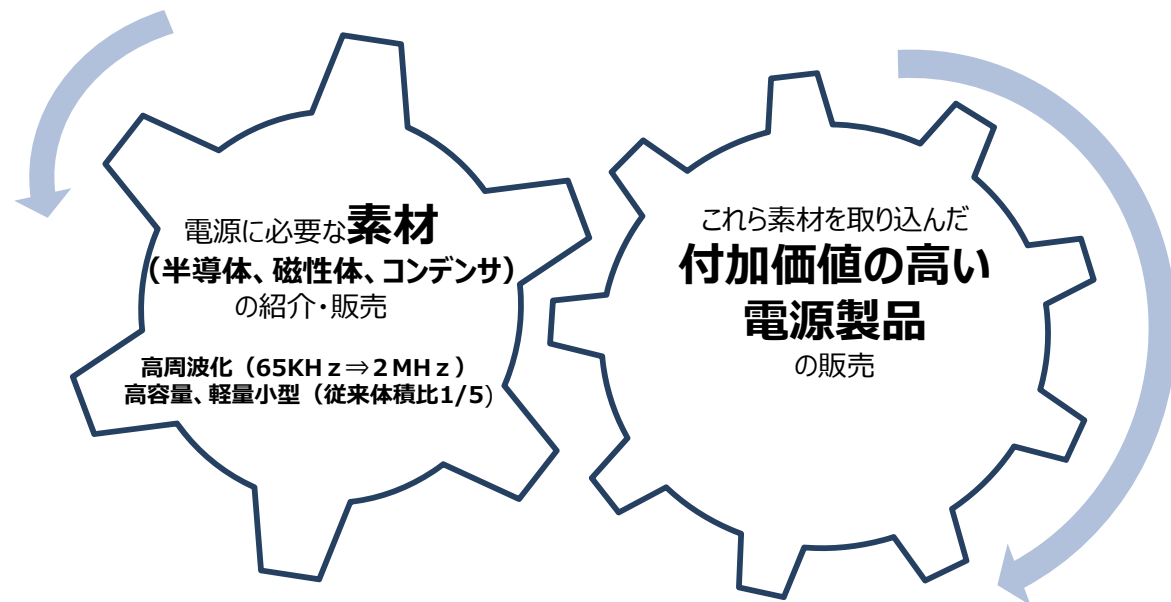
電源とパワーデバイスの両輪を極める



◆ 電源・パワーデバイスを

第二の柱に育てる

日系パワーデバイスの優れた製品と電源メーカーを結び付け、中国、ASEAN地区のEVチャージャー、モバイル電源、組込電源に注力

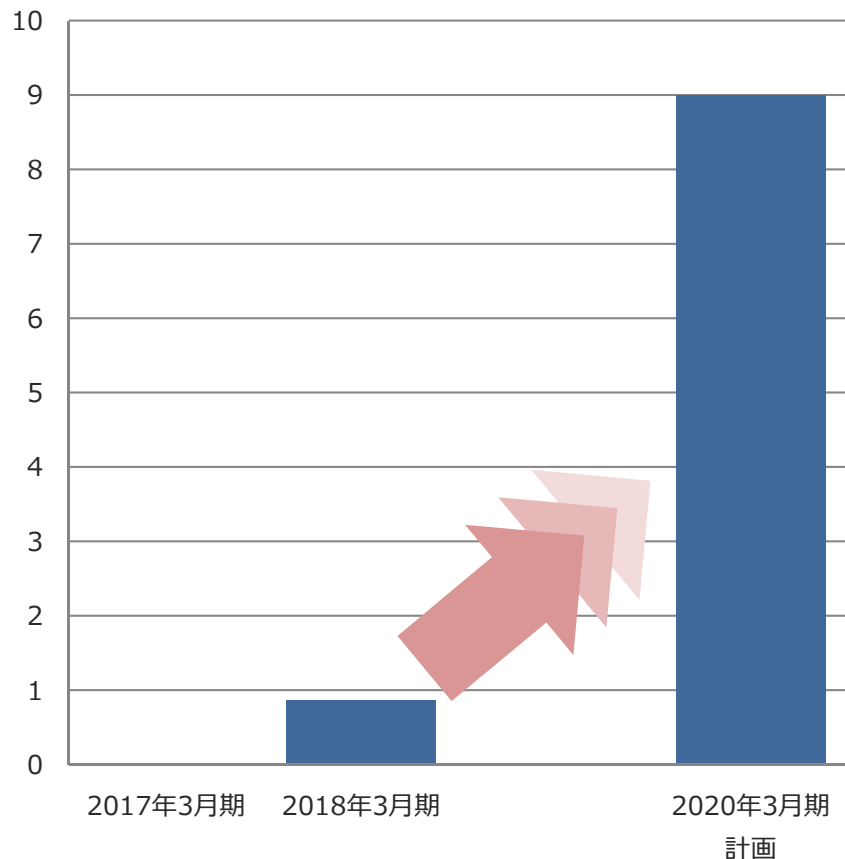


3

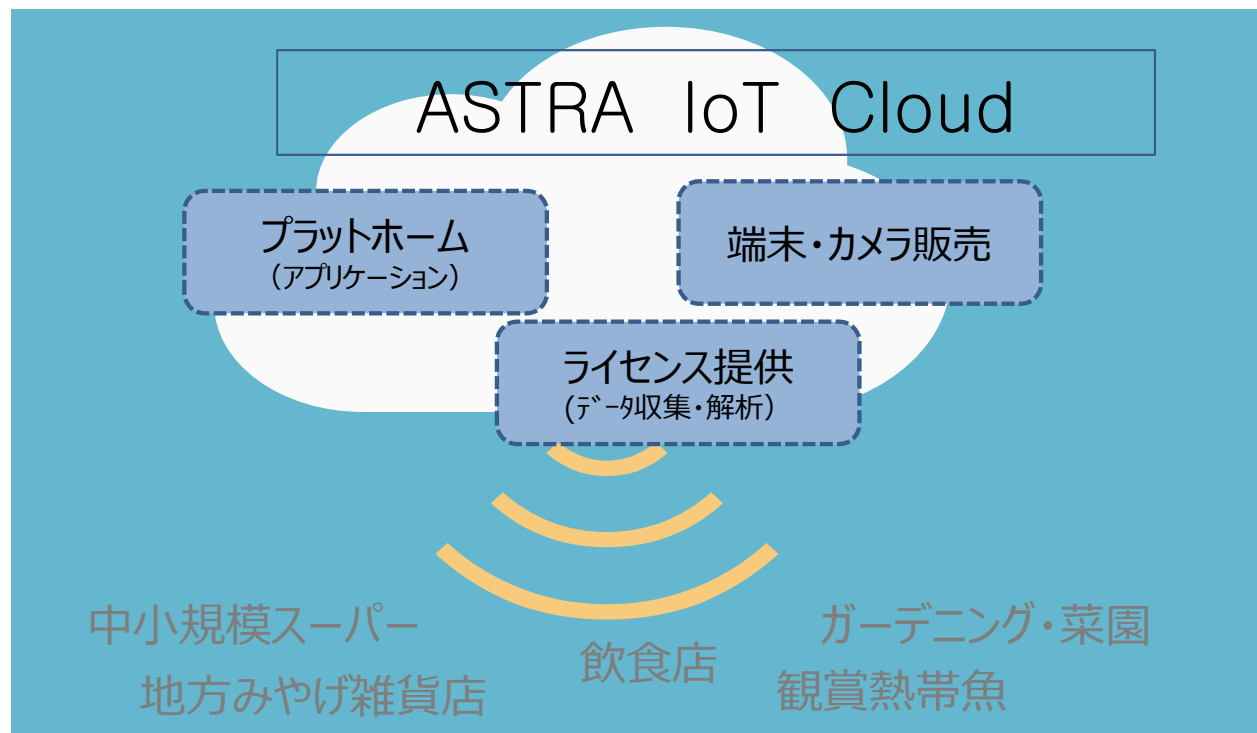
‘IoT’のビジネスモデルを確立する

売上目標

(億円)

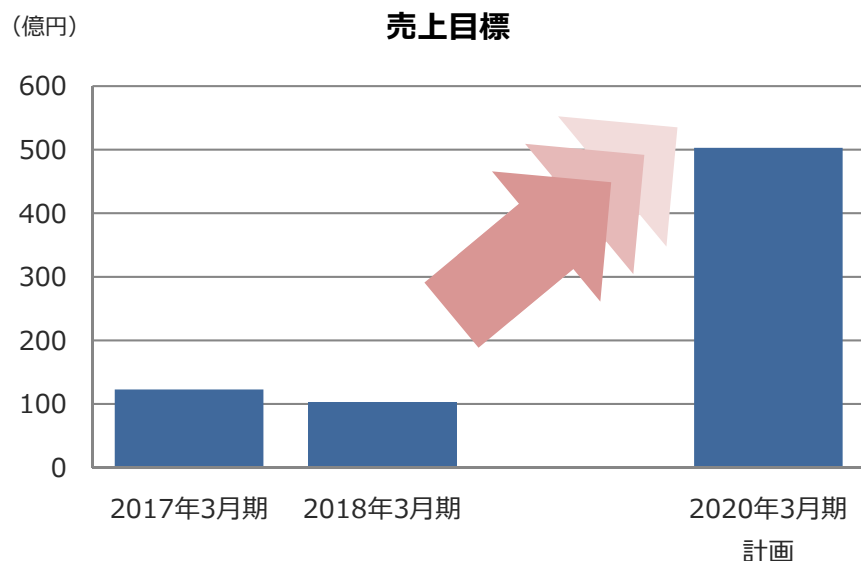


◆ASTRA社と連携し、カメラ等を活用したIoTのプラットフォームを提供し、ライセンスビジネスを推進する
専門家がいない会社や個人とIoTを結び付け、簡易に動態分析ができる環境を提供



4

取扱製品を拡充・拡販する



◆新規仕入先・新規商材を発掘し、顧客のニーズと結び付けることで、ビジネスの拡大を図る

5

新規市場を開拓する（中長期）

◆「事業企画部」の新設

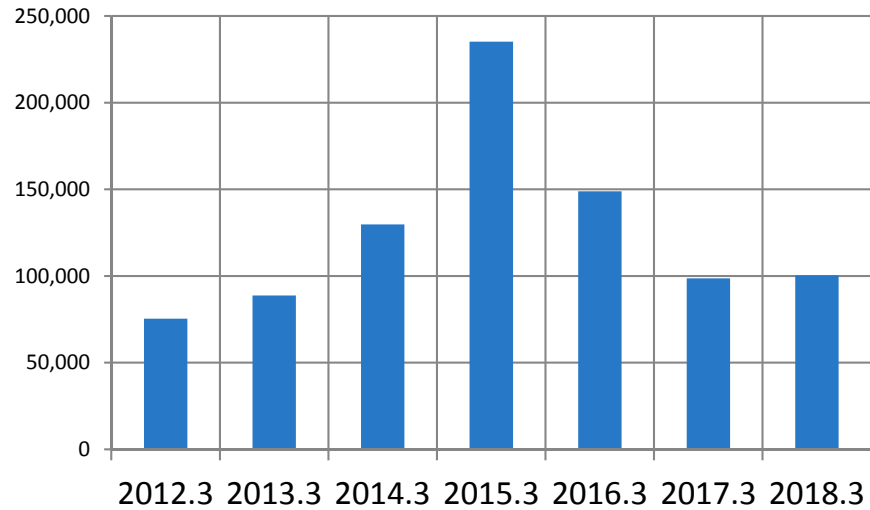
- 既存ビジネスの枠を超えた事業領域への進出
(AI、自動運転、ロボット等)
- 地域別、産業別マクロ分析による事業戦略の策定

APPENDIX 2

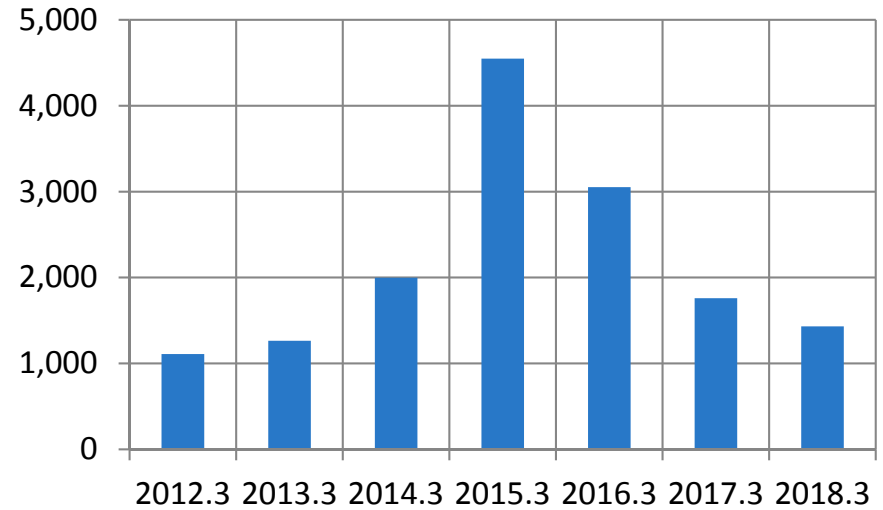
- DATA SHEET

		単位	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3
業績	売上高	百万円	75,392	88,840	129,806	235,272	148,945	98,703	100,425
	営業利益	百万円	1,111	1,265	1,999	4,549	3,054	1,760	1,433
	経常利益	百万円	1,139	1,469	2,263	4,653	2,651	1,448	1,283
	当期純利益	百万円	732	1,054	1,517	-7,805	2,330	1,065	2,874
1株データ	1株当たり当期純利益[EPS]	円	84.53	121.73	175.14	-900.72	268.87	122.94	331.67
	1株当たり純資産[BPS]	円	2,654.80	2,873.45	3,282.77	2,401.57	2,628.34	2,676.65	2,965.60
	1株当たり配当金[DPS]	円	30	30	32	34	34	34	75 内、特別配当 ³⁰
資産・負債	総資産	百万円	33,643	52,589	66,831	107,949	67,192	49,057	54,554
	純資産	百万円	23,007	24,916	28,476	20,864	22,915	23,440	27,249
	自己資本比率	%	68.4	47.4	42.6	19.3	33.9	47.3	47.1
財務指標	自己資本利益率[ROE]	%	3.2	4.4	5.7	—	10.7	4.6	11.8
	株価収益率[PER]	倍	9.7	7.7	6.5	—	5.2	12.2	8.2
キャッシュ・フロー	営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-2,755	-58	-610	-39,224	31,977	12,332	-7,398
	投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-245	-626	-72	-49	-60	216	-463
	財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-1,491	2,934	2,384	41,467	-28,177	-19,077	5,076
	現金及び現金同等物の期末残高	百万円	5,440	7,853	9,809	12,708	16,284	8,719	5,686

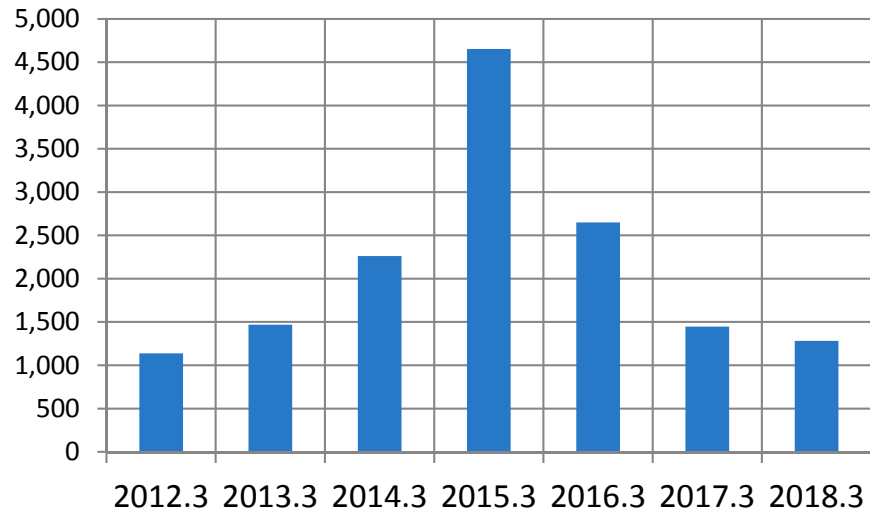
売上高 (百万円)



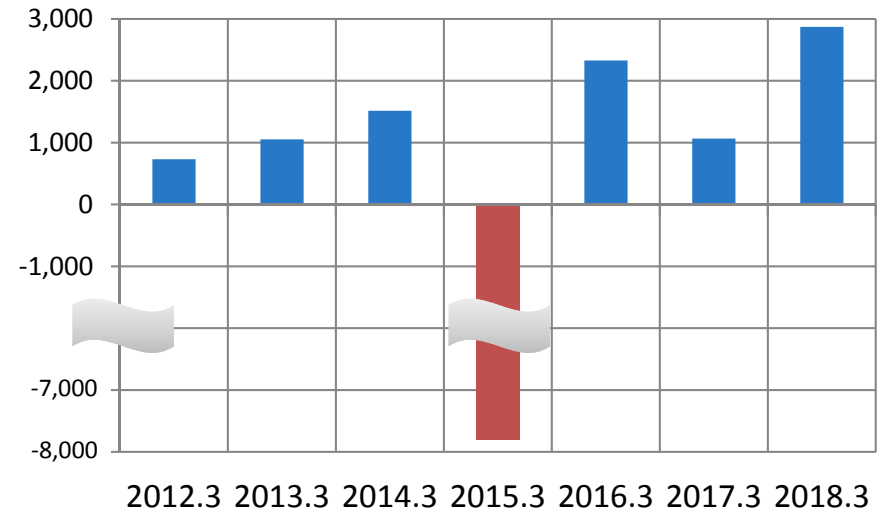
営業利益 (百万円)



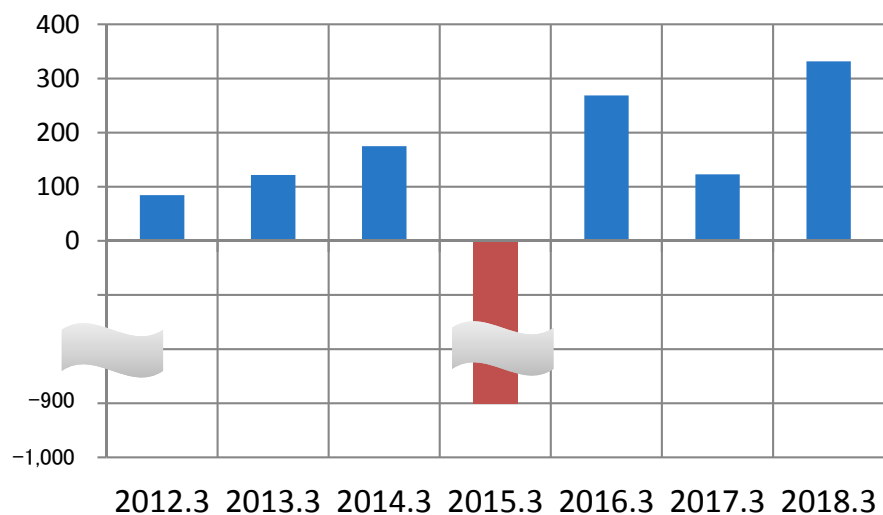
経常利益 (百万円)



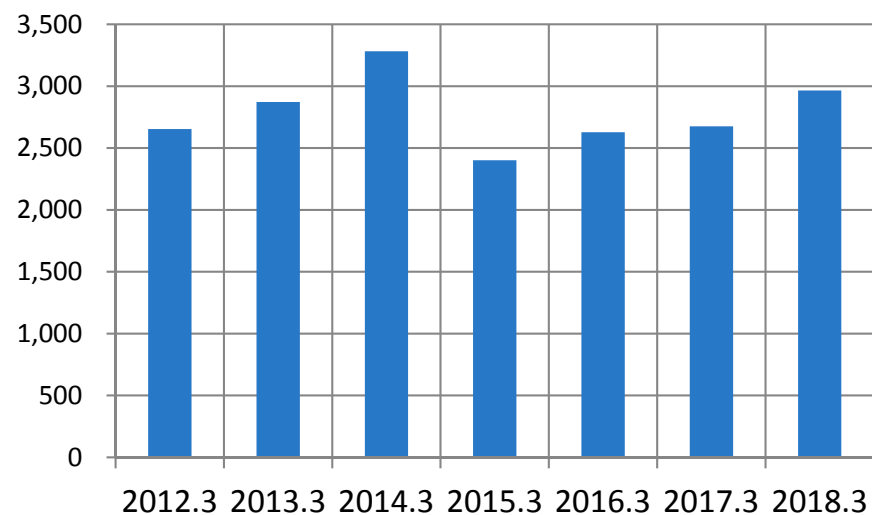
当期純利益 (百万円)



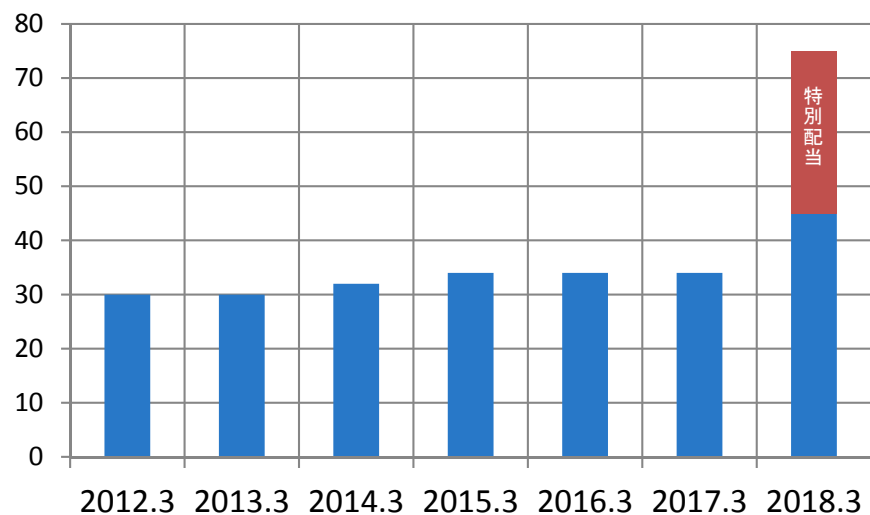
1株当たり当期純利益[EPS] (円)



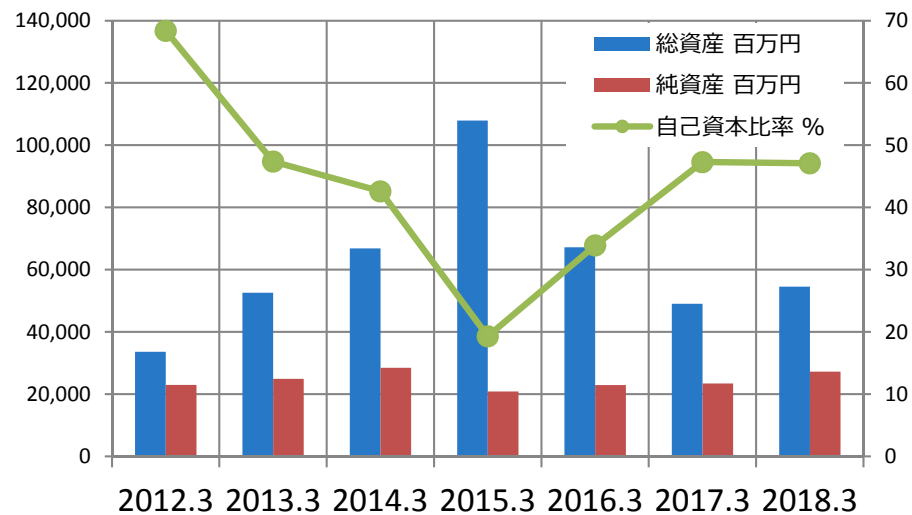
1株当たり純資産[BPS] (円)



1株当たり配当金[DPS] (円)



総資産 (百万円) 純資産 (百万円) 自己資本比率 (%)



資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている株式会社エクセルの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。



<http://www.excelweb.co.jp/investor/index.html>